



安濃津だより

令和 3 年 4 月
第 27 号
発行・編集 安濃津ガイド会

ガイドができる喜び

会長 藤本 智恵子

平素より安濃津ガイド会の活動にご理解、ご協力をいただき有難うございます。

さて、今年度の前期は、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発出され、ガイドのキャンセル、詰所の閉所が続きました。

そんな中、ガイドネットからフェースシールドが配布され、七月から道の駅での案内が再開されました。マスクに加えフェースシールドも付けているという安心感もあり、津市の情報コーナーにいらしたお客様にやっとご案内できるようになりました。

しかし、コロナ禍で情報コーナーに足を運ぶ方は少数でした。温泉や見所の案内をさせていただきましたが、そのほとんどの方が東京、神奈川等関東エリアからと近隣の名古屋、岐阜、滋賀などからでした。答えていただいた方は、大きな声では言えませんが、申し訳ないですが何かを前置きして答えてくれます。こんな時期でなければ遠くから来ていただくと満面の笑みで感謝を述べますが、緊急事態宣言下ではドキッとします。

後期に入り、新型コロナウイルスへの対応、体温測定、マスク着用、手指の消毒、三密を避ける等を徹底し、橋南公民館の講座がスタートしました。例年より人数を減らしての募集でしたが、沢山の方にご参加いただきました。また、橋南公民館は今年度、修成幼稚園跡に移転をし、その開館記念講座も担当させていただきました。参加された方は、久しぶりに外出し各所をまわれる喜び、私たちガイドは、久しぶりにゆっくりとご案内できる喜びをかみしめました。

ガイドネットにおいては、研修バス旅行と交流研修会は中止になりましたが、三団体による現地研修会と三回に分けての「わきみち・よりみち・奈良街道」が行なわれました。

まだしばらく新型コロナウイルスの影響があると思いますが、今後もよろしくお願いいたします。

定例連絡会でミニミニ勉強会の実施

昨年11月からミニミニ勉強会が当会の定例連絡会で実施されています。

この勉強会は、会員が持っている諸々の知識を共有し、ガイド内容を充実するのが目的です。

発表者は固定せず、自主的に交代しています。発表時間は一回約15分間とし、詳細な内容は資料配布としています。内容は、書物・新聞などからの引用、講演会で得た知識、古老の話、などなどです。

会員の方々は豊富な知識を有しており、発表の題材には、事欠きません。これまでの話題は「神社について」「伊勢街道の話題」「仏様について、大黒天など」「しめ縄について」「津市にちなんだ歌謡」「久居のお殿様」などが各々方から披露されました。私も話題を用意して、発表する機会を待っています。

この勉強会の効果は、皆さんの発表内容から知識の増加が図れます。また、自分が発表する場合では、短い時間内で、要領よく、かつ分かりやすく話をする訓練になります。あやふやな知識では、発表できないので、しっかりとした根拠のある話ができるように、研鑽にこころがけたいです。

各会員さんは、知識欲と好奇心が旺盛な方々ですので、このミニミニ勉強会は、今後長く継続していくものと楽しみにしています。

(高森 孝一)

「伊勢電の廃線跡ウォーク」

関 守

以前に江戸橋から大神宮前を結んでいた伊勢電気鉄道の廃線跡ウォークの第一回目(江戸橋駅→雲出駅跡)を、二月七日と二十三日の二回開催し、延べ二十六名が参加した。

朝九時に江戸橋駅を出発し、現在の近鉄名古屋線の東側に沿っての線路跡を辿り、つい最近まで残っていた部田駅の遺構を写真で紹介し、往時を振り返った。

更に線路跡を辿って安濃川(塔世川)に残る塔世橋兩岸の橋脚跡を見つづ、次の津新地駅跡へ、そこで参加者の一人から、駅前に大きな天狗の飾り物がありましたね!との思い出話が出た。

次の津海岸駅もはつきり記憶に残っている様子だった。私も子供の頃に市内からバスで移動して津海岸駅から新松阪駅近くの親戚の家まで時々乗車していたことを思い出した。

現在架け替え工事が進んでいる津興橋は橋脚を残すだけになり仮橋を進んだ。海水浴客でにぎわった阿漕浦駅、当時は大きな松の木が駅のシンボルだった結城神社前駅など思い出深い方々が口々に語られた。結城神社では咲き出した梅が参加者を迎え、良い香りで包んでくれた。

国道二十三号線から南の近鉄道路(廃線跡)は歩道が無く車の通行量も多く、一部は「からす道」に迂回して目的地向かうことになった。途中、小さな祠など、興味を惹かれる新たな発見もあった。

相川橋も架け替える為に仮橋の工事が始まり「からす道」に掛かる下相川橋も老朽化して通れなくなっている。一旦、国道に出てから、廃線跡の近鉄道路に戻った。

本日のゴールはイオン津南までとして、参加者はJR高茶屋駅から帰路に就いた。



安濃川に残る橋脚跡

「津城の貴重な写真を紹介」

あるホームページを発見して

津城の古写真をインターネットで検索していたところ、見たことのないびっくりするようなホームページを見つけた。

津城の様子が、1960年代(白黒)、1970年代(カラー)、1980年代(カラー)、1994年代(カラー)に分けて掲載されており、時代による変遷がよく分かります。また、どこから撮影したのかよく分かるように、津城の現状見取図に赤色の↓で方角が示してあります。驚いたのは1970年代の写真で、本丸南多門櫓台前に土砂かと思われるものが大量に堆積しています(この時は社会福祉会館などの建物はまだ建っていませんでした)。また戌亥櫓台前や西の丸大手橋前は、内堀の水が涸れて土砂のようなものが高く堆積しています。

どのような方が撮影されたのか大変気になりましたので、メールで問い合わせたところ、志摩市在住の井上様とおっしゃられる方でした。昭和四十一年(1966)日本電信電話公社に就職しNTTを退職するまで三十六年間、津城の写真を撮り続けられたとのことでした。ぜひ皆さんにも津城の変遷を見ていただき、ガイド資料としても活用していただきたいと嬉しいお言葉も頂きました。

井上様は津城の他にも全国の城を丹念に撮影され、ご趣味も専門的で多岐にわたっています。

ぜひとも井上様のホームページをご覧くださいと思います。ホームページを検索する場合は、hamajima2019冬野菜↓日本の城↓東海の城↓三重県の城↓津城と進んでください。

(深見 和正)



津城1970年代
(市役所方面から戌亥櫓台を撮る)



津城1960年代
(東側より模擬三重櫓を撮る)



津城1970年代
(南西より西の丸大手橋前を撮る)



津城1970年代
(電電公社屋上より本丸南側を撮る)

★ホームページアドレス

<http://hamajima2019.nobushi.jp/miekennosiro201411.html>

ガイド実績

十月 十五日	橋南公民館講座 二十五名
二十二日	岩田橋周辺
二十九日	橋南公民館ウォーク 二十三名
二十九日	津観音寺ほか
二十九日	橋南公民館開館記念講座 二十二名
二十九日	阿弥陀寺ほか
十一月 十九日	三重短大都市計画ゼミ 十九名
十九日	津城跡・だいたて通り・ほか
十九日	橋南公民館講座 二十名
二十一日	丸山稲荷ほか
二十一日	パナソニック松愛会 十名
二十二日	浅田家口ケ地めぐり
二十二日	パナソニック松愛会 六名
二十三日	浅田家口ケ地めぐり
二十三日	まん中ウォーク 九百九十七名
二十三日	津観音寺ほか四地点
二十三日	名城探訪の旅人 二名
二十三日	津城跡
二十三日	橋南公民館開館記念講座 二十二名
二十七日	ひまわり会 十二名
二十八日	津偕楽公園
二十八日	大門スペシャルウォーク 六十名
二十八日	四天王寺・津城跡
十二月 十七日	橋南公民館講座 二十七名
二十五日	旧寺町ほか
二十五日	橋南公民館ウォーク 二十名
一月 十九日	結城神社ほか
二十一日	パナソニック松愛会 十名
二十一日	中勢鉄道路ウォーク 二十六名
二月 七日	地蔵院ほか
十二日	パナソニック松愛会 十二名
十二日	中勢鉄道路ウォーク
十二日	ポルトサロン久居 七名
十七日	寒松院ほか
十八日	城下探訪 一名
十八日	津城跡ほか
十八日	橋南公民館講座 二十八名
二十六日	津観音・だいたて
二十六日	橋南公民館ウォーク 十五名
三月 十八日	津偕楽公園
二十五日	橋南公民館講座 二十三名
二十五日	津城跡ほか
二十六日	橋南公民館開館記念講座
二十六日	十三名
二十六日	阿漕塚ほか
二十六日	橋南公民館ウォーク 十五名
二十六日	東雲寺ほか

詰所の実績

● 新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、一時間閉所としたため、開所日は三十日間。

十月	五十六名
十一月	九十一名
十二月	十六名(十九日から閉所)
一月、二月	(閉所)
三月	六十七名(十三日から開所)

現地研修会

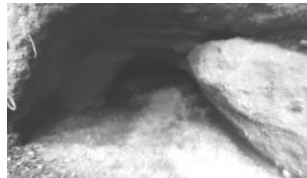
「寛政の一揆〜企ての舞台〜」に参加して

令和二年十月二十二日（木）、榊原温泉ふるさと案内人の会二〇二〇年度現地研修会「寛政の一揆〜企ての舞台〜」が、榊原町において開催されました。

現地説明会に先立ち、希望者対象に磨崖仏の説明がありました。

会場 海泉寺にて日程説明の後、三班に分かれて町井友乃丞ら一揆首謀者が密談をしたという「談義穴」を案内していただきました。

た。鬱蒼とした山奥に佇む洞穴は、如何にも「密談の場」に見えるようななんともいえない雰囲気を感じていました。



海泉寺裏手の山にある談義穴

その後海泉寺本堂にて、寛政の一揆についてのお話を案内人の方や西田会長からお聞きしました。

寛政の一揆とは、寛政八年に津藩が実施した均田制などの急激な改革に対し、現在の津市榊原町や白山町の農民らが蜂起し、周辺の農民も巻き込んで津城に押しかけた参加規模は三万人ともいわれた一揆です。首謀者三人が打ち首にされ、城代家老藤堂仁右衛門までがお役御免となるなど、三重県では最大規模の一揆でした。



海泉寺 顕彰碑

谷杣村庄屋町井友之丞ら一揆の首謀者たちは寛政十年に処罰されましたが、この一揆のことは長く伝えられ、海泉寺には「世直し大明神」として祀られた首謀者たちの顕彰碑が大正二年に立てられています。町井友之丞の辞世の原文が残っており「ありがたき君が恵みの一太刀に罪とか消えて弥陀とあらわるおそろしき屠所の陸路のけわしきの船に任せる身こそやすけれ」と書かれています。この句は獄中で姉に向けて書いたものです。

今回の現地研修会に参加して、当時の農民の切実なる思いがよく理解できました。町井友之丞ら農民の気持ちになって、最終的に津城まで押しかけた道順を辿りたいという思いになりました。

（深見 和正）

現地研修会

林殿町の町並みとミエソウ化石発見の地

山本 喜兼

三月十日（水）、班分けの後、閑翁寺から案内していただきました。亀山城の山荘書院を移築した座敷と真盛上人の直筆の掛軸を拝見、本堂で和尚様のお話とご祈禱をいただきました。林殿町では立派なお屋敷を見て、昔は相当な勢力を誇っていただろうと感じられました。

普門寺では米国ポトマック河畔の桜と同じ桜が一本あり、他の桜とともに満開時にさぞや美しかろうと思ひ、ぜひ来たいと思いました。また、

天正二年には滝川一益の兵火によりお寺が焼失、その時に兵火をくぐり抜け住民が持ち出したとされる仏像の下部が黒く煤けているのを見て少し心が痛みました。



普門寺 本堂

旧明村役場は改修されて美しくなっています。

ミエソウ化石発見の地では中ノ川の蛇行する場所と田圃の土手の石垣に使われていたとの事。他の人は普通の石と思っていたもので、発見した宮崎氏には感心しました。

その他、中ノ川の天然の二十m程の崖、川の中のお地藏さん、庚申講のお地藏さん、竹屋茶業さん、式内事忌神社、旧普門寺、観音寺跡などを案内いただきました。

快晴のもと楽しく参加させていただきました。社会情勢厳しいコロナ禍での開催を関係者の皆様のご努力ご苦労に心から感謝申し上げます。

現地研修会

大涅槃図絵解き・定時ガイドツアー体験

坂口 義孝

三月二十一日、一身田寺内町ほっとガイド会ご担当の現地研修会に参加させて頂きました。研修会は、まず坊官屋敷を見学、次に如来堂で大涅槃図の解説をお聞きし、最後に専修寺定時ガイドツアーを体験させて頂く内容でした。坊官屋敷はつい最近、建物外部の復元工事が完了、今後は歴史や文化を伝えていく施設として、内装工事を検討されるとのこと。完成がとも楽しみに思いました。

大涅槃図絵解きでは、描かれている風景、人物、動物等の基本的なことや専修寺涅槃図の特徴等について、お話をお聞きすることができました。特に、昆虫や犬、猫のような身近な動物はもとより、虎や象といった日本にはいなかった動物、猿など空想上の動物が描かれているのは興味深かったです。



大涅槃図絵解きの様子

ガイドツアーは、如来堂へ通天橋へ御影堂へ大玄閣へ賜春館へ御対面所を巡るもので、全て国宝が重要文化財の建造物でした。特に国宝の如来堂や御影堂はその荘厳さに圧倒されましたが、それ以上にガイド会の方のお話は、普段目にする資料では知ることのできない事が多く、とても興味深いものでした。

専修寺は藤堂藩との関係も深いので、今回の研修会で得たことをガイドの際に活用していきたいと思っています。

奈良街道にガイドとして参加して

「あなたの知らない街道めぐり」

わかみち・よりみち・奈良街道

奈良街道巡り。伊賀街道と分かれる、五百野から伊勢街道と合流する月本の追分まで、長距離の為に三回に分けての実施です。コロナ禍に対策を講じて、各回四十名募集、密にならない様に五班に分かれ、参加者には、手指の消毒、検温して傘をさして頂いての案内。案内ガイドは、久居城下案内人の会担当。第一回十月十四日水「五百野から久居城下まで」約十kmと長丁場です。各自弁当持参頂き、集合場所、受付は、五百野の吹上の道標前へ久居駅解散です。

第二回十月二十八日水「久居城下散策」(久居立藩三五〇年記念) 協賛 約七km 久居駅前集合、受付。久居城下散策して久居駅で解散。

第三回十一月十一日水「久居城下から月本の追分」約十km 各自弁当持参頂き、久居駅前集合、受付、JR六軒駅解散。

三回共に天気に恵まれ中秋の一日街道歩き！ 街道沿いには、旅人の道案内をしたであろう多くの道標や常夜灯。其所に暮らす人達の信仰をあつめたであろう山ノ神、地藏堂、庚申さん等、多くの石像物があり、なかには貴重な文化財に指定されて、地域に大切にされている物も数多くありました。その中でも特に参加者が関心を示していたのが山ノ神と盃状穴、一部地域に残る万度碑と万度信仰、六部塚などです。盛り上がりつつありました!! 途中でまちかど博物館などへ「よりみち」して窯元の作品を見せて頂き、お茶を頂いたり。

「久居立藩三五〇年記念」で久居藩主の菩提寺で藩主像や五輪塔を案内、久居八幡宮では、珍しい外国人の宮司さんに話を伺いし、神宝の藩主にまつわる書や品を見せて頂きました。



久居八幡宮

ガイドの途中では、その場に関連の久居の昔話を

を楽しんで頂き、またこの街道を通ったと伝わる、奈良大仏殿再建した(勧進聖) 俊乗坊重源、俳人松尾芭蕉、幕末全国を測量して初めて日本地図を作った伊能忠敬等のエピソード。宿場町の繁盛の様子等案内。

三回共、約十kmと長時間の街道歩き！ ガイドネット担当者には、緊急時対応準備や危険箇所の見守り、交通整理等お手伝い頂き、ガイド案内説明は一ヶ所長くても三分位と

思っている場所も多く、なかなか思う様にはいかず、長距離の歩きで列は乱れがちになり、ガイドの難しさを感じ、また通常ガイドを行ってない場所もあり自分の勉強不足の面もありましたが、貴重な経験と勉強をさせて頂きました。

参加者には、鍾馗(しようき)さんの残る古い街並み、久居誕生にまつわる話しなどと共に、街道の余り知られていない石像物や言い伝え等、歴史の物語りにつながる様な、地元民でなければ分からない様な話題も含めご案内。新しい知識や発見があり、楽しかったとお言葉を頂いたり、声が大きくなりやすくて良かったと、嬉しい声も掛けて頂き、ガイド前の憂いも忘れて・ホッと!! したこと笑。今回は昼食を挟んでの三回の長距離ガイド、色々の反省点や気付きを勉強させて頂き、楽しませて頂きました。(福 正直)

安濃津ガイド会の活動実績

▼ミニミニ勉強会

十一月〜二月の連絡会・役員会開始前十五分程度講師は安濃津ガイド会会員

その他の活動実績

- ☆津観光ガイドネット協議会
- ・連絡会議・研修部会・イベント部会へ参加(毎月第四月曜日)
- ・道の駅「津かわげ」で津市の観光案内

- ・現地研修会
- 十月二十二日(木) 参加者六名
- 担当…榊原温泉ふるさと案内人の会
- 三月十日(水) 参加者九名
- 担当…芸濃ふるさとガイド会
- 三月二十一日(日) 参加者十一名
- 担当…一身田寺内町ほっとガイド会

☆おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会

総会は紙面で行われた

●発行にあたり、皆様のご協力に感謝いたします。
(編集担当・坂口)